

めぐみイエス・キリスト教会

2023年12月3日(日)降誕節第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第685号」



2023年標題聖句

第Ⅰヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌75「神の御子は」 p. 102

【交読文】 No.37 詩篇第119篇 p. 909

【賛美Ⅱ】 新聖歌78「荒野の果てに」 p. 106

【使徒信条・主の祈り・先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「天より来られし」

【聖書朗読】 ルカの福音書3章15節～20節(新約p. 114上段)

【礼拝説教】 《バプテスマのヨハネの預言》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 ルカの福音書3章15節～20節(新約p.114)

3:15 人々はキリストを待ち望んでいたもので、みなヨハネのことを、もしかするとこの方がキリストではないか、と心の中で考えていた。

3:16 そこでヨハネは皆に向かって言った。「私は水であなたがたにバプテスマを授けています。しかし、私よりも力のある方が来られます。私はその方の履き物のひもを解く資格もありません。その方は聖霊と火で、あなたがたにバプテスマを授けられます。

3:17 また手に箕を持って、ご自分の脱穀場を隅々まで掃ききよめ、麦を集めて倉に納められます。そして、殻を消えない火で焼き尽くされます。」

3:18 このようにヨハネは、ほかにも多くのことを勧めながら、人々に福音を伝えた。

3:19 しかし領主ヘロデは、兄弟の妻ヘロディアのことと、自分が行った悪事のすべてをヨハネに非難されたので、

3:20 すべての悪事にもう一つ悪事を加えヨハネを牢に閉じ込めた。

●ポイント1.「ヨルダン川の向こう岸のベテニアにおいて」

※ヨハネの福音書1章19節～27節「ヨハネの証言から」 (新約p.176)

1:19 さて、ヨハネの証しはこうである。ユダヤ人たちが、祭司たちとレビ人たちをエルサレムから遣わして、「あなたはどなたですか」と尋ねた時、

1:20 ヨハネはためらうことなく告白し、「私はキリストではありません」と明言した。

1:21 彼らはヨハネに尋ねた。「それでは、何者なのですか。あなたはエリヤですか。」ヨハネは「違います」と言った。「では、あの預言者ですか。」ヨハネは「違います」と答えた。

1:22 それで、彼らはヨハネに言った。「あなたはだれですか。私たちが遣わした人たちに返事を伝えたいのですが、あなたは自分を何だと言われるのですか。」

1:23 ヨハネは言った。「私は、預言者イザヤが言った、『主の道をまっすぐにせよ、と荒野で叫ぶ者の声』です。」

1:24 彼らは、パリサイ人から遣わされて来ていた。

1:25 彼らはヨハネに尋ねた。「キリストでもなく、エリヤでもなく、あの預言者でもないなら、なぜ、あなたはバプテスマを授けているのですか。」

1:26 ヨハネは彼らに答えた。「私は水でバプテスマを授けていますが、あなたがたの中に、あなたがたの知らない方が立っておられます。

1:27 その方は私の後に来られる方で、私にはその方の履き物のひもを解く値打ちもありません。」

●ポイント2.「聖霊と火のバプテスマ」とは？

※使徒の働き1章4節後半～5節「主イエス様の昇天直前に」(新約p.232)

1:4 「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

◎先々週の礼拝メッセージ【バプテスマのヨハネの教え】

《今日は、バプテスマのヨハネの教えについて、共に考えて見ましょう。ヨハネは、群衆に非常に厳しい言葉で、呼びかけています。「まむしの子孫たち」と。「まむし」とは、創世記に登場する「蛇」のことです。かつて、私たちも「まむしの子孫たち」でした。パウロは、エペソ書で、『私たちも皆、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、他の人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。』と、明言しています。

次に「悔い改めに相応しい実を結びなさい」と、ヨハネは命じています。ここでは、罪に対する裁きがあることを、明確にしています。

聖書は、私たち人間に、一度死ぬことと、死後に、それぞれの罪の裁きがあることをはっきりと教えています。しかし、神様は逃れの道を用意しておられました。それが、救い主、イエス・キリストなのです。

「悔い改めの実」とは、ただ単に口で「悔い改めます」と言うだけではなく、行ないによって、自分が悔い改めたことを明らかにすることです。その決意表明として、ヨハネのバプテスマがあるのです。

さて、群衆は、ヨハネの言葉に心を刺し通され、「それでは、私たちはどうすればよいのでしょうか」と質問します。この質問に対して、ヨハネは、どうしたら、「悔い改めの実」を結ぶことが出来るのか、具体的に教えています。この教えに聞き従うなら、まさしく「悔い改めの実」である「良い実」を結ぶことになるのです。さて、この教えは、私たちにも語られています。それは、「良い実を結ばない木になってはならない」と言うことです。主は、ご自身が「ぶどうの木」であると言う「たとえ」を話されました。「私はぶどうの木、あなたがたは枝です。人が私に留まり、私もその人に留まっているなら、その人は多くの実を結びます」と。主イエス様と共に、ぜひとも多くの実を結ぼうではありませんか。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、12月10日(日)です。終了後、楽茶に移動します。今回は、お一人3,000円を会計役員の佐野三彦さんにお渡し下さい。